

令和 7 年度 第 1 回 天王寺区政会議

日 時：令和 7 年 8 月 5 日（火）

午後 7 時 0 2 分～午後 8 時 4 7 分

場 所：天王寺区役所 3 階 講堂

出席者

（区政会議委員）

石野委員、大野委員、岡崎委員、奥野委員、児玉委員、佐藤（哲司）委員、佐野委員、
竹田委員、立川委員、東川委員、長谷川委員、服部委員、平嶋委員、平田委員、舟本
委員、榊井委員、三輪委員、森谷委員、安田委員、山田委員、吉田委員

出席 2 1 人／定数 3 6 人

（市会議員）

金子議員、須藤議員

（天王寺区役所）

末村区長、松永副区長、高嶋企画総務課長、中事業戦略担当課長、

高橋企画総務課長代理、武部市民協働課長、

前田市民協働課地域活動支援担当課長代理、

北島市民協働課安全まちづくり担当課長代理、

原田教育文化担当課長兼教育委員会事務局総務部天王寺区教育担当課長、

近藤市民協働課教育文化担当課長代理兼教育委員会事務局総務部教育政策課天王寺区
教育担当課長代理、田中保健福祉課長、森本保健福祉課福祉サービス担当課長代理、

住田子育て支援担当課長兼教育委員会事務局総務部天王寺区教育担当課長、

草川保健福祉課子育て支援担当課長代理兼教育委員会事務局総務部教育政策課天王寺

区教育担当課長代理、高橋保健・生活支援担当課長、
辻野保健福祉課保健・生活支援担当課長代理、寺戸窓口サービス課長、
佐梁窓口サービス課保険年金担当課長代理、
齋藤企画総務課担当係長、福井企画総務課担当係長、福田企画総務課担当係長

○中事業戦略担当課長

それでは定刻が参りましたので、ただいまより令和7年度第1回天王寺区区政会議を開催させていただきます。本日はお忙しい中、お集まりいただきありがとうございます。

私は、天王寺区役所事業戦略担当課長の中でございます。どうぞよろしくお願いいたします。

まず最初に、先日お送りしました資料について、本日お持ちでない方がいらっしゃいましたら申し出ください。手を挙げていただきましたらお渡しいたします。

いらっしゃいませんか。大丈夫ですか。

続きまして、ここにおります区役所職員のうち、本年度4月1日付で異動がありました者についてご報告いたします。

事業戦略担当課長、中でございます。よろしくお願いいたします。

続きまして、窓口サービス課長、寺戸でございます。

○寺戸窓口サービス課長

よろしくお願いいたします。

○中事業戦略担当課長

保健福祉課長、田中でございます。

○田中保健福祉課長

よろしくお願いいたします。

○中事業戦略担当課長

子育て支援担当課長、住田でございます。

○住田子育て支援担当課長

よろしくお願いいたします。

○中事業戦略担当課長

市民協働課地域活動支援担当課長代理、前田でございます。

○前田市民協働課地域活動支援担当課長代理

よろしくお願いいたします。

○中事業戦略担当課長

保健福祉課保健・生活支援担当課長代理、辻野でございます。

○辻野保健福祉課保健・生活支援担当課長代理

よろしくお願いいたします。

○中事業戦略担当課長

それでは議題に入る前に、本日ご出席の委員の皆様をご紹介いたします。本日、ご出席の委員の皆様は机の上に置いてある配席図のとおりでございます。

現在、区政会議の委員の皆様は、令和5年10月1日から令和7年9月30日を任期として、地域団体のご代表23名、公募委員13名、合わせて36名の方々に構成されております。

委員全員の名簿は、資料1 区政会議委員名簿のとおりでございます。個別の紹介は割愛させていただきます。

なお、子育て・教育班の佐藤委員、地域福祉・健康班の飯田委員、川畑委員、橋本委員、堀井委員、南委員、地域社会づくり班の上田委員、高橋委員、藤本委員、情報発信班の岡内委員、酒井委員、宮寄委員は、欠席の旨ご連絡をいただいております。

また、区政会議にはお忙しい中、金子議員、須藤議員にもご出席をいただいております。ありがとうございます。

本日も、議題の最後に、ご助言・ご意見をいただきますようお願い申し上げます。

なお、本会議は公開となっております。会場内のカメラ撮影は、議事の全てが対象であることをご了承願います。

議事録等の作成のため、事務局で会議の様子を録音しております。また、全市的な取組として、多くの方に会議の模様をご覧いただけるように、本日の区政会議は、会議の内容を録画の上、後日インターネット配信を行いますので、ご理解いただきますようお願いいたします。

本日の会議は、傍聴の方がお見えです。本会議は、分科会形式で進行します。各班での審議の際、傍聴の方は各会議室を回っていただいて差し支えありませんが、傍聴要領は遵守いただきますようお願いいたします。

なお、本日の区政会議の様子を広報紙等に掲載するため、事務局が会議中に写真を撮影させていただきます。

職員からの説明は、「端的に簡潔に」を心がけ、委員の皆様のご意見をいただける時間をできるだけ設けたいと考えております。

また、事前にご意見・ご質問いただいておりますので、私たちの回答・対応と併せて、より議論を深める材料としていただければ幸いです。

それでは、次第に基づいて進めさせていただきます。

まず最初に、末村区長よりご挨拶申し上げます。

○末村区長

区長の末村です。皆様方には、日頃に様々な場面でお力添えをいただいておりますことを本当にありがとうございます。また、口に出して少しでも涼しくなってくれたらいいなというような気持ちで申すほどの酷暑、暑さの中、また、皆様方それぞれにご予定があります中、ご出席をいただきましたこと、本当にありがとうございます。感謝申し上げます。

今年度1回目の区政会議ということになります。議題のほうは、令和6年度区運営方針の実績・評価および課題、こちらを議題とさせていただきまして、私のほうから

全体会の場でご説明をさせていただいた後、班に分かれてご議論をいただくという流れになっております。また、先ほど進行の中課長のほうから申しました事前に皆様方からいただきましたご意見・ご質問への回答、こちらはそれぞれの班に分かれました後にご説明をさせていただきます。

大変限られた時間かとは思いますが、どうぞ忌憚なくご意見のほう、多様に賜りたく存じますのでよろしくお願いを申し上げます。様々な場で申しておりますけれども、今年は大阪・関西万博、それと区制の100年というのが二つ重なった大きな大きな年でもあります。ますます皆様方と一緒に、区政の充実に取り組んでまいりたいというふうに思っておりますので、どうぞ今後ともよろしくお願いを申し上げます。

本日も最後までどうぞよろしくお願いを申し上げます。私からのご挨拶をさせていただきます。

○中事業戦略担当課長

それでは、続きまして、竹田議長からご挨拶をお願いいたします。

○竹田議長

議長を務めさせていただきます、竹田です。よろしくお願いします。本日は本当にお暑い中、また、お忙しい中ご参加いただきましてありがとうございます。

本年、今年度第1回目の区政会議になるんですけれども、このメンバーで迎えます最後の区政会議となります。この2年間、区政に関する多様なご意見をいただきました。

本日も、活発な議論とともに建設的な意見、すばらしいアイデアが出されることを期待しております。

そして、区役所には区政会議での議論を踏まえ、これまで以上によりよい取組を進めていただきたいと思います。

本日は、最後までよろしくお願いいたします。

○中事業戦略担当課長

竹田議長、ありがとうございました。それでは続きまして、服部副議長、ご挨拶をお願いいたします。

○服部副議長

こんばんは。副議長の服部でございます。本日はお忙しい中、会議にご出席をいただきまして、誠にありがとうございます。時間の都合もございますので、簡潔に。

本日も天王寺区のよりよい未来のために、皆様の活発な議論をいただきますよう、期待しております。最後までよろしくお願いいたします。

○中事業戦略担当課長

服部副議長、ありがとうございました。

それでは、ここからの議事進行につきましては服部副議長にお願いしたいと思います。服部副議長、どうぞよろしくお願いいたします。

○服部副議長

それでは、これより皆様のご協力のもと、会議が有意義なものとなりますよう進めてまいります。よろしくお願いいたします。

初めに、事業戦略担当課長より本日の流れを説明いたします。

○中事業戦略担当課長

本日の流れにつきまして、ご説明させていただきます。区政会議におきましては、年度を通じて区政委員の皆様にご協力をいただくことは次のとおりです。

今回の第1回区政会議では、例年、前年度に区役所が進めた事業について評価をいただき、さらに、本年度の課題についてご意見をいただく場としております。また、12月頃に予定しております第2回区政会議では、本年度の取組から次年度に区役所が行うべき事業についてご意見をいただきながら、次年度の区の運営方針等を固めていくという流れになっております。

本日は、令和6年度天王寺区運営方針の実績・評価および課題について取り扱います。それでは、本日の議題について、まず、末村区長より説明の後、審議に移ります。

審議は分科会形式により、班ごとでお願いしております。班ごとに議論、意見をいただきましたテーマ、経営課題を設定しておりますので、その課題を中心に、８時２０分頃まで各班で議論し、その後、各班で出た意見等を全体で共有します。

司会進行は、各施策・事業を所管する課長、課長代理が担当いたします。

議題は、８時４０分頃に終了し、続いて、区長から一言申し上げます。

また、締めには当たっては、金子議員、須藤議員よりご助言、ご意見をいただきたいと考えておりますので、よろしくお願いいたします。

流れの説明は、以上でございます。

○服部副議長

それでは、末村区長より資料２「令和６年度天王寺区運営方針の実績・評価及び課題について」の３ページから５ページを中心に説明いたします。

それでは、末村区長、お願いいたします。

○末村区長

ありがとうございます。皆様のお手元でございます資料の３ページをお開きいただきたいと存じます。

本日、ご議論をいただきます、過年度ですね、令和６年度の区政方針につきまして、は大きな柱を五つ立てています。この柱はどこに基づいているものかと申しますと、天王寺区将来ビジョンに基づくものです。２０２２年４月に策定をしておりますが、こちらで立てております五つの柱、１つ目、「みんなの「思い」が区政に反映されているまち」、それから２つ目、「子どもが健やかに育ち、未来に向かって学べるまち」、３つ目、「だれもが安全で安心していきいきと暮らし続けられるまち」、４つ目、「歴史的・文化的資産を活かして多くの人が集いにぎわうまち」、五つ目、「つながりあい、支え合い、助け合うまち」、こちらの五つの柱に基づいて策定されたものでございます。

次の４ページ目に移りたく存じます。４ページ目では、自己評価結果の総括のうち、

運営方針全体についての評価のお話をいたします。

次の5ページ目で、今後の方針についてをご説明いたします。

では、運営方針全体の評価、この経営課題1「子どもが健やかに育ち、未来に向かって学べる環境づくり」。こちらについての評価でございますけれども、子育て世帯の不安に対し、情報提供と専門知識を持った職員による相談機会等を提供しているが、継続した実施が必要でございます。2つ目、子育て支援・学習支援等の取組について積極的な周知を行うとともに、必要な支援を関係機関につなげる取組も継続する必要があります。3つ目、外国からの編入児童・生徒等の増加に伴う支援は、外国語サポーターを派遣しております。当区だけでなく各区とも課題認識を共有し、対応策を検討していく必要がございます。外国語サポーターを派遣しておりますのは、区の区まち予算に限定したことございまして、市全体の教育委員会については、24区共通した支援策というものを講じております。

では、次の経営課題2にまいります。「気にかける・つながる・支えあう地域福祉」。

地域コーディネーターの配置により、福祉の情報提供や相談対応等を行う場を地域に作ることで見守り体制の強化に努めました。今後も地域の高齢者、障がい者の皆様の孤立化を防ぐ取組の推進が必要、との認識でございます。

経営課題の3「大きな公共を担う活力ある地域社会づくりと地域の力を結集した「防災力」向上の取組」。

幅広い世代の地域活動の広がりが十分とは言えず、区民の皆様方の地域活動への関心や関与を高める方策を検討する必要がある、との認識でございます。

区民の皆様の災害への備え（自助）や地域の防災対応力（共助）の向上をめざして、防災を自分ごととして捉え、行動に移すための啓発の方策を検討する必要があるというふうに認識してございます。

次、経営課題4「歴史的・文化的資産を活かした積極的な魅力発信による地域の活性化」。

こちらは、区制100周年と大阪・関西万博に関する情報発信を強化するべく、大阪・関西万博「大阪ウィーク秋」で同テーマにおける情報発信を進めております。

では、5ページ目に移りまして、同じ経営課題1、2、3、4の順番で今後の方針についてお話し申し上げます。タイトルは、割愛をさせていただきます。

経営課題の1、こちらについては、専門相談員等による情報提供と相談はもとより、発達が気になる子どもと保護者対象の学習、また交流の場の提供、不登校児童への家庭訪問、外国人児童等へのコミュニケーション支援等や、子育てに特に不安のあるご家庭への支援を充実してまいります。

経営課題の2、高齢者の皆様、また見守り支援事業の認知度向上、同意を得られる方の増加を図るために、見守り相談室と連携をし、効果的な周知・広報を行ってまいります。

地域の活動をしていただいている皆様方からの情報を生かして、見守り登録につなげてまいります。

経営課題の3、身近な地域における人と人とのつながりづくりを促進するために、日ごろからの顔見知りづくりの大切さを感じていただけるような広報・啓発に取り組んでまいります。

いつ起きてもおかしくない災害に備えて、「マンション防災」の強化、そして、地域・協力企業などとの連携による共助力の強化に引き続き取り組んでまいります。

3つ目、個別避難計画の作成や防災訓練等の機会を通じ、緊急時に助け合える「地域のつながりづくり」に取り組むなど、共助を促進してまいります。中でも、個別避難計画については国のほうから自治体に努力義務が課されていますので、こちらのスケジュールについても留意しながら進めてまいります。

経営課題の4、豊富な歴史的・文化的資産を活かしつつ、区制100周年及び大阪・関西万博を契機に、区の魅力発信について、より強化してまいります。

以上が、自己評価結果の総括における評価、それから今後の方針でございます。以

上でございます。

○服部副議長

末村区長、ありがとうございました。

それでは、ここからは班ごとの審議に移ります。事業戦略担当課長から案内をお願いします。

○中事業戦略担当課長

ただいまより、班ごとの会議室をご案内いたします。子育て・教育班は5階市民活動団体交流スペースへ、地域社会づくり班は502会議室へ、情報発信班は301会議へ、地域福祉・健康班はこのまま講堂にお残りください。係の者がご案内いたします。

金子議員、須藤議員につきましては、いずれかの班、または、順次各班を回っていただき、意見交換の様子をご覧ください。

各班で議論いただいた後、8時20分にこちらの3階講堂へお戻りください。

それでは、係の者が皆さんを各会議室までご案内いたします。担当の方は、誘導をお願いいたします。

(分科会討議)

○服部副議長

皆さん、おそろいになりましたでしょうか。

それでは、各班からご意見等について、ご報告をお願いいたします。

○子育て・教育班記録係（高橋代理）

では、子育て・教育班の関係について、いただいたご意見のほうをご紹介させていただきます。

まず、子育て・教育班の具体的取組で様々な取組の実績等をお示しさせていただい

ているんですけれども、その中で、職業講話ですとか部活動支援の講師派遣であるとか、そういったものについての取組について、小学校によっては回数に差がすごく大きいので不公平感があるのではないかと、小学校から中学校に上がったときに、通っていた小学校によって体験したことが大分異なってくるので、クラブ活動であったり教育内容など平準化するべきではないかというご意見のほういただきました。

次に、不登校の子とお話をする機会があったんだけど、とても素直な子で、その子との話の中で、区役所にそういった相談に乗ってくれるような職員がいてくれるというふうなお話を聞いたと。区役所にそういう相談に乗ってくれる職員がいるのはすごくありがたいというふうに思う、というふうなことと、委員ご自身も私もそういった子どもに寄り添っていきたいと思うというご意見のほうをいただいております。

次に、ジュニアクラブの活動について、外国につながる生徒同士について学校を超えての交流会であるとか、そういった子ども同士の交流もできればいいんじゃないかというご意見もいただいております。

次に、天王寺区内に外国につながる生徒に日本語学習をすることのできる学校というのを一つ集約して指定するべきではないかと。各校で取り組むより集約したほうが効果的なんではないかというふうなご意見と、日本人にも外国人にも学習機会を保障しなければならないというご意見のほうをいただいております。

今回の区政会議の資料のほうに外国につながる方の数字というのが出ており、そういった数字については継続して把握して行ってほしいというご意見と、あと、外国語の関係について翻訳機での対応というようなことなく、もっと抜本的なことを今後考えていくべきではないかというご意見のほういただいております。

以上になります。

○地域福祉・健康班記録係（福田係長）

では、いただいたご意見を発表いたします。

まず、独居高齢者等見守りサポーター事業につきましては、実績と今年度の目標の

間に大きな乖離があることから、地域間の格差の中でも、同意率の低い地域重点を置いて引上げを行うことで、目標の達成に近づくのではないかと、というご意見がありました。

また、同意することでどのような支援が受けられるのかということをつかりやすくお伝えするということが大切である、というご意見や、地域における見守り事業について、地域で回覧板を回すなどして周知を図ってみてはどうかとのご意見をいただきました。

次に、出前講座につきまして、現状に関する問題点のご指摘として、高齢者が多く受講しているというイメージがある、通いの場に参加するのが、男性に比べて女性が多いとのご意見がありました。

また、過去に地域で実施した出前講座の様子から、男性の参加者が極端に少なかったという経験談もありました。そのため、対象者を広げるための方策として、まず男性に対するPRでは、まだまだ自分自身は健康だと考えている男性向けに、「その健康を維持するために、こうしたことが必要ですよ」というような講座名にしてみても、というご意見や、高齢者のみならず、その高齢者の子ども世代であるミドルの世代向けに、「親の介護や健康に関する講座」というのはどうかというご意見、そして親子で参加されている子ども食堂の実施主体へ講座を周知することも有効ではないかというご意見をいただきました。

また、地域の会館にて、このような講座の開講案内のお知らせを置いてほしいという意見もありました。そのほか、官民連携として、健康づくりを目的に天王寺区内の企業や、病院等に関わってもらうのも有効ではないかとのご意見もいただきました。以上です。

○地域社会づくり班記録係（齋藤係長）

次に、地域社会づくり班から報告させていただきます。

こちらの班では、「防災力」向上の取組について話し合いをしまして、集合住宅に住

んでいる方たちの地域での防災の関わり方というものについて課題があるのではないかというご意見がありました。それに対して、マンションを建てるなど、例えば地域貢献を条件にしてもらえないか、条例などで掲示板の設置などに協力をしてもらうことなどを条件にしてもらえないかなというご意見がありました。

ほかには、防災マップの内容が深まるような、例えばハザードマップに二次元コードを入れるなどして、情報量が深まるような改良をしてはどうかというご意見をいただきました。

また、外国人住民への災害の対応ということも今後の課題になるのではないかとご意見がありまして、それについては、地域でのイベントに参加をしていただいて顔なじみになっていくという取組をされている地域もあるということで、ご発言がありました。

また、ほかには防犯カメラ、駅前に設置している物について、初めは警察の方がつけてくれたけれども、そのデータを遠方の警察の方が見に来られることがあると、ただ、年数がたって壊れてきた物があるので警察からまた補助をしていただけないかなというご意見がありました。

あと、ほかには備蓄の話ですね。町会としても備蓄を進めているけれども、予算に限りがある中で、自助の取組をどう進めていただくかということに課題があるのではないかとご意見がありました。

また、町会にいかに入ってもらえるかということも課題で、それにインセンティブを設けるにはどうすればいいかということで、例えばトイレの凝固剤の購入を、町会に入ることによって何か例えば安く購入できるなど、そういったことがインセンティブにならないかなというご意見をいただきました。

また、外国人の方の地域の参画の課題だということでご意見がありました。また、町会としてやれることは限られている。実際には、個人の方々がいかに自助を進めていただけるのかがポイントになると思う、というご意見もいただきました。

あとは、区政会議の委員さんの任期につきまして、9月末までとなっているけれども、区政会議をよりよくするために、2回目から新しい委員さんとなるのではなくて、1回目から新しい任期となるような再考の余地があるのではないかなというご発言もいただきました。以上でございます。

○情報発信班記録係（福井係長）

情報発信班です。まず、SNSでの情報発信について、区役所の職員ではなかなかマーケティングの専門的な知識が不足しているという状況ですので、直営での運営には限界があるのではないかとご意見をいただきまして、外部委託も今後、視野に入れて効果的な情報発信を継続できるような仕組みづくりを検討していくのはどうかというご意見をいただきました。

ホームページについてもご意見をいただきまして、トップ画面は大分、見やすくなったというご意見いただいたんですが、まだ改善できる点はあるのではないかとことで、例えば広報紙を過去のものも含めて、各ページにタイトルを付けて並び替えると、区民の方が見たときに自分が欲しい情報がこのページに載っているというのが分かるので、そういった初見の人でもアクセスしやすいような掲載方法を検討してはどうかというご意見をいただきました。

次に、広報紙の配布方法についてもご意見をいただきまして、以前行っていた、新聞折り込みのほうが、広報紙単体がポストに入っているよりも、より目を通してもらえるのではないかとご意見をいただきました。また、ホームページの載せ方についても目次をそれぞれ振って、例えば2ページ目に、子育て情報があるというようなタイトルにして、見たいページにすぐ飛ぶようにしてはどうかというご意見をいただきました。

また、広報物を作るときに、「天王寺区」と「天王寺」という表現が混在しているのではないかとご意見をいただきまして、区外であったり市外の人にとっては「天

王寺」がどのエリアを指すのかが分かりづらいというところがありますので、その使い分けを明確にしたらいいいのではないかというご意見をいただきました。

また、お子さんにも伝わるような、分かりやすい情報発信を心がけてはどうかというご意見と、障がいのある方も含めて一緒に防災訓練などに参加して、つながりを深めた上で、魅力発信を強化していくべきではないかというご意見をいただきました。

あと、情報発信の在り方として、SNSでの発信の強化もそうなんですけれども、リアルで人が集まる場所での情報発信も引き続き効果的ではないかというご意見もいただきまして、直近で区民まつりが10月に開催されますので、そういった多くの人が集まる場所で、対面で広報していくのも効果的ではないかというご意見をいただきました。以上になります。

○服部副議長

ありがとうございます。各班からご報告いただきました。

議題は、以上で終了です。ここで、区役所に進行をお返しします。ご協力ありがとうございました。

○中事業戦略担当課長

竹田議長、服部副議長、ありがとうございました。

それでは会議全体を通しまして、末村区長から一言お願いします。

○末村区長

冒頭にも申しましたけれども、夜分に熱心にお時間を投じていただきまして、ご議論いただきましたこと、本当にありがとうございます。

今、4つの班——子育て・教育班、それから地域福祉・健康班、地域社会づくり班、情報発信班、それぞれにそれぞれの班でご議論いただいた内容についてお聞かせいただきました。不登校の子と、それから日本語支援のこと、外国籍のお子様の、やっぱり数の急増につきましては様々な場面で議論に上がる場所でもございます。冒頭に、私のほうの説明でもさせていただきましたが、区役所だけではなくて、もちろん大阪

市全体で、今年であればKOTOBAL（コトバル）という学習支援端末を、コロナのときに全員が1人1台持ててるわけですが、ここにその支援が必要な生徒さんたちのための翻訳ソフトというのが導入されることに、これは今年度でございますので今日の資料には出ておりませんが、そのようなものが導入されたりとか、そういうことを全ての学校で正しくといいたいでしょうか、1年たったら日本語で、教室で授業を受けられるようになってねと、そういう使い方をしましょうというようなことを区行政のほうも教育委員会、または先生方と共有しながら取り組んでいることですか、思いを同じくするといいたいでしょうか、その辺のこともお話しただけて大変ありがとうございました。

私たちも自信を持って、向かうべき方向に学校現場、様々な現場が向かえるようにしっかり連携をしていきたいというふうに思ったところでございます。

それから、見守りに関することも伝える内容を分かりやすくという点については日頃に私たちも努力はしているんですけども、お聞きいただく方の状態を考えて、どこまでできているかなというところはもう一度しっかりおさらいをしたいなというふうにも思いました。出前講座についても支援していただいている方、子ども食堂を担っていただいている方々からの発信というようなものもあっていいなというのは、私もすごくいい視点をいただいたというふうに思ったところです。

町会のこと、防災のこと、全く私どもも同じように思っております。情報発信については、ここをなかなかちょっと皆様方には、まだまだ十分じゃないよというご視点でお話しいただく場面が多いかというふうに思います。できる限り、前に進めていけるように、これからは職員としっかり体制を組んでやっていきたいというふうに思っております。

これまでの各班でのご議論に改めて御礼を申し上げますとあわせまして、最後に区政会議の委員の皆様への任期の区切りのつけ方というところでもご意見をいただきましたが、この9月末で任期満了になります佐藤委員、それから佐野委員、平田委員、

石野委員、大野委員、岡崎委員、児玉委員、立川委員、三輪委員、安田委員、皆様方には本当に熱心なご議論をいただきましたこと、改めて御礼を申し上げます。9月末で任期満了になられます委員の皆様方にも改めて御礼を申し上げ、また、これからもご継続いただきます委員の皆様方にも次回からのご議論に、変わらずご支援賜りますようお願いを申し上げまして、私からのコメントとさせていただきます。本当にありがとうございました。

○中事業戦略担当課長

それでは最後になりますが、金子議員、須藤議員から一言いただきたいと思います。
どうぞよろしくお願いいたします。

○金子議員

皆さん、長時間お疲れさまでございました。お仕事帰りで来られている方とか本当にお疲れのところ、闊達なご意見いただいて本当にいつも感謝申し上げます。

私もこちらのほう、経営課題のほうを見せていただいて、常に目標と達成状況というのが書かれてあるんですけれども、常に、ちょっと乖離が激しいところが一つありまして、先ほど来、区長もですし、委員の皆様からもご意見がありましたけれども、やはり独居高齢者が増えてる中で同意を得られないという、要援護者という名簿の同意を得られないというのは、やはりちょっと区側としてもそういう人たちを把握する側でも大変な思いをしているのかなと思いましたが、委員の方から今回有効なご意見が、ご提案がなされたということで、ぜひとも区側もそういった取組をされたらどうかと思うところでございました。

それと、総じて全ての部会で課題と認識されているのだなと思ったのが、外国人が増えていることによる課題が増えているのかなと、例えば学校園での問題があったり、地域への参画の問題があったりですね。または、一番重要な防災の面で課題を感じてらっしゃるってところがありましたので、これはしっかりと区が区政において取り組んでいってもらいたいなと思うところでございます。

皆さん、本当に本日は長い間、いつもいつも闊達なご議論いただきましてありがとうございます。それでは、お疲れさまでございました。

○須藤議員

須藤でございます。まずは皆様、遅い時間ありがとうございました。また、天王寺区の皆様はいつも様々ご支援いただきまして、本当にありがとうございます。

私も金子議員に続いて、2点あるなと思っていて、一つは外国人問題でございます。天王寺区においては、やはりこの外国人の流入率が年々高まっていて、毎年600人、700人ぐらいの外国人が来ます。天王寺区は特殊で、お金持ちの外国人が来るんですね。別の区においては技能実習生というビザが多くて、いわゆる本当に東南アジアとかフィリピンの子たちとか、いわゆる日本語学校に通いながらという子たちも多くいる一方で、天王寺区は経営管理ビザというものをを用いて、いわゆるお金持ちの方がマンションを買ったりしてきますと。そのときに何が問題かというところ、これ根本はやっぱり国の施策であり、我が党の申し訳ないところあるんですけど、いわゆる500万円以上の資本金があれば、簡単にビザが下りてしまうっていうのが一番の問題だと思っています。ここについては、まさに今日議論をしていて、国とも連携をしていきながら、金子先生とも連携をしながらきっちりと国に提言を上げていこうと思っています。

2つ目が、人口増加どうすんのっていう話だと思います。また、この目の前のけいさつ病院の跡地も7月30日から縦覧始まりましたが、50階建てのタワーマンションの建設が大阪の大都市計画の中で決定をしております。決定しているという表現はあれなんですけれども、ちなみに、皆さん知ってましたか。知らないですよ、あまり。じつは、7月30日にその都市計画が発表されて、今は縦覧期間で、8月14日までに皆さんの意見を出すことができます。が、14日間の間に地域の意見をまとめて、出すというのは事実上不可能ですよ。ですから、これはもう、実際問題としては多分受け入れていくしかないんです。ってなったときに、夕中と五条をどうすんの

と。この都市計画においては、五条に四つの教室が入る予定です、そのマンションの中にですね。あとクリニック、あと生鮮食品売場、ここら辺は入ってきます、今の予定では。けれども、この四つの教室で果たして本当に五条は回ると。いろんなところの懸念がある中で、我々は本当にこの都市計画について天王寺区とも、共々本当に自分事として改編をしていきたいなと思っております。人気だからこそ、住みやすいからこそこの天王寺区が結果的に、やっぱり子どもが住みにくくなったりとか住みにくいまちになってしまっただけでは意味がないので、皆さんの意見を頂戴しながら、議会でしっかりと金子先生とともに働きかけていきたいと思います。皆様、本日は貴重な意見、ありがとうございました。

○中事業戦略担当課長

金子議員、須藤議員、ありがとうございました。

竹田議長、服部副議長、委員の皆様、多くの貴重な意見をいただき、誠にありがとうございました。

また、委員の皆様におかれましては、今回で任期の満了となります。これまでのご尽力、誠にありがとうございました。

各地域団体からご選出の委員の皆様におかれましては、次期委員の推薦のお願いを団体の会長様宛てにお送りしておりますので、よろしくお願いいたします。

それでは以上をもちまして、令和7年度第1回天王寺区区政会議を終了いたします。

お帰りの際、資料3「天王寺区区政会議委員評価シート及び令和7年度区政会議に関するアンケート」につきまして、出口のところで回収しますのでご提出ください。

なお、本日ご提出いただけない場合は、8月12日火曜日までにお送りいただきますようお願いいたします。

それでは、本日はありがとうございました。